

咲洲の防災機能に関する検討報告書

大阪府の防災拠点の整備と大阪市の防災対策のさらなる強化に向けて

大阪府庁舎の WTC ビルへの移転を検討するに当たり、大阪府の防災拠点としての観点から、咲洲の防災機能を大阪府と大阪市が共同で検討するため、「咲洲の防災機能府市共同検討ワーキンググループ」を設置した。

本報告書は、災害時における大阪府職員の参集という視点を軸に、また、大阪市の防災対策のさらなる強化に寄与することも視野に、台風、地震といった自然現象に対する咲洲の防災機能の検証と、必要となる対応策についてとりまとめたものである。

平成 21 年 8 月

大阪府・大阪市

目 次

〔 1 〕 目的及び作成趣旨	p.1
〔 2 〕 咲洲及びその周辺の現状	p.1
2 - 1 . 防災上考慮すべき事象	
2-1-1 . 地震動	p.1
2-1-2 . 液状化	p.2
2-1-3 . 潮 位	p.3
2 - 2 . 咲洲の地盤及びインフラの状況	
2-2-1 . 現況地盤高及び地盤沈下	
(1) 咲洲の地盤高	p.3
(2) 地盤沈下の現状	p.4
(3) 各埋立地の地盤沈下の将来予測	p.8
2-2-2 . 主要構造物の安全性（耐震性、地盤沈下、潮位の影響）	
(1) 橋梁・トンネル	p.13
(2) 一般道路部（埋立地）の液状化	p.15
(3) 一般道路部（内陸沿岸部）の液状化	p.15
(4) 護 岸	p.15
(5) 防潮堤・防潮扉（築港地区）	p.15
〔 3 〕 防災上の検討課題とその対応策	p.16
3 - 1 . 地震の影響	p.16
3 - 2 . 液状化の影響	p.18
3 - 3 . 潮位（高潮・津波）の影響	
3-3-1 . 高 潮	p.18
3-3-2 . 津 波	p.19
3-3-3 . 地盤沈下	p.20
3 - 4 . 対応策	p.21